



福島放技ニュース

THE NEWS OF THE FUKUSHIMA ASSOCIATION OF RADIOLOGICAL TECHNOLOGISTS

2014

1月1日号

138
VOL.

発行所 公益社団法人 福島県診療放射線技師会

〒960-8003 福島市森合字蒲原16-7 TEL/FAX 024 (659)1043

ホームページアドレス <http://fart.jp/>

巻頭言

年頭のごあいさつ



会長 齋藤 康雄

新年あけましておめでとうございます。

心新たに輝かしい年の明けを迎えられたことと、お慶び申し上げます。

昨年は、みなさまのご協力によりまして4月に悲願とも言える公益社団法人に移行し、新たな門出とも言える年になりました。そのような初年度に会長職をお引き受けして事業を遂行してまいりましたが、その役割と責任の重大さを改めて痛感しております。2年目になる今年からが、真価が問われることになり、公益社団法人として名実ともに県民の負託に応えられる公益事業の展開が求められてきます。一層のご協力をお願いいたします。

東日本大震災から3年になろうとしています。放射線、放射能、除染という言葉は日常的になっていて、聞かない日はありません。地元の新聞は、原発の状況、環境放射線量測定値、除染や帰還などの原発事故関連記事に多くの紙面を割いています。テレビでは毎日夕方に、その日の県内各地の放射線量（最小値と最大値）が放映されます。そのような状況下で、我々は各地区の健康祭りや公開講座などを開催し、機会がある毎に放射線被ばくなどについての啓発活動を行ってきましたが、これからも各施設や地域の要請などに応じた身近なところでの活動や、患者さんの放射線に対する不安の相談などの対応を望みます。平成26年度からは、福島県の事業として甲状腺本格超音波検査が行われます。18歳未満の38万5千人が対象です。この事業を福島県内の人材で効率よく進めるために、福島県医師会が中心になり医師、診療放射線技師、臨床検査技師を対象とした福島県限定の甲状腺検査認定制度が発足しました。講習会に参加して規定の単位を取得し受験資格を得た後、認定試験を受験するようになります。本制度の運営には、本会からも甲状腺検査支援合同委員会委員として理事が1名参画しています。会員の方も10数名受講していますので、今後の活躍を期待いたします。

山積している課題を解決しながら、みなさまの要望に応じていくために、今年も福島県診療放射線技師会ホームページを積極的に活用して事業の展開を図っていきます。昨年、ホームページのリニューアルを行い、会員のみなさまには有意義な情報をよりタイムリーに提供し、一般の方々には福島県診療放射線技師会を知っていただき、放射線についてご理解いただくための情報の提供を行っている所ではありますが、それに加え求人情報の提供もより積極的に行い県内施設の求人難に対応していきたく、専用ページの設置も検討しております。人材の確保は作業環境の改善と質の向上にも関係する課題であり、設置された際には是非活用していただきたいと思います。

今年も放射線技術の向上発展を図り、県民医療の向上に寄与する事業を展開していく所存です。昨年に増して皆様方のご支援とご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

新年あけましておめでとうございます

事	外	監											理	副	会	公益社団法人 福島県診療放射線技師会			
務	部	事	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	事	会	長				
局	監	事												長					
	事																		
阿	伊	高	片	堀	秋	村	山	渡	白	菅	佐	佐	水	白	佐	平	新	遊	齋
部	藤	橋	倉	江	山	上	田	部	石	野	藤	藤	沼	川	藤	井	里	佐	藤
郁	陸	宏	俊	常	淳		隆	育	嘉	和	佳	孝	利	義	政	和	昌		康
明	郎	和	彦	満	一	薫	弘	夫	博	之	晴	則	夫	廣	春	子	一	烈	雄

平成25年度第3回理事会 議事記録

開催日時：平成25年11月15日(金)14:00~15:30
 開催場所：県立医大放射線部 カンファランス室
 出席者：会長齋藤康雄 副会長遊佐 烈、
 同新里昌一、理事平井和子、同佐藤政春、同
 白川義廣、同水沼利夫、同堀江常満、同秋山
 淳一、同村上 薫、同白石嘉博、同佐藤孝則、
 同山田隆弘
 監 事：片倉俊彦
 事務局長：伊藤陸郎 事務局員：阿部郁明
 欠 席 者：理事佐藤佳晴、同菅野和之、同渡部育夫
 議長に新里副会長、議事記録白川理事とし議事に入る。

1. 議事
 - 1) 平成25年度事業執行状況について
 - 各地区協議会・各委員会報告
 - 総務委員会
公益社団法人福島県診療放射線技師会「定款・諸規定集」を発行し、全会員に配布した。
 - 表彰委員会
来年度の永年勤続30年表彰者に11名が該当している。伊藤事務局長より公益社団法人日本診療放射線技師会事務局へ推薦状を提出した。
審査結果については、来年度前後に日本診療放射線技師会事務局から福島県診療放射線技師会事務局と本人へ通知がある。
 - 精度管理委員会
ピラニアを使用しての各施設での測定を、東北放射線医療技術学術大会が終了したので今月から再開

する。2施設（三春病院 日東病院）で終了した。次に白河病院で行う。最初は委員の施設を回り、その後は委員在籍以外の施設を回る予定でいる。これから先も継続して進めて行きたいと考えている。

調査委員会
アンケートの原案を作成している。原案ができしだい各委員に意見を聞き年度末までには仕上げたいと考えている。

学術委員会
 ・学術奨励賞については、東北放射線医療技術学術大会に福島県から60題の発表があったので、その中から学術奨励賞を選ぶことが了承された。また、来年2月に平成25年度学術大会が星総合病院で開催されるが、シンポジウム「読影の補助について」の座長が決まっていない。そこで、理事の中で、知り合い認定技師の方がいたら新里学術委員長までにメールにてお知らせしてもらいたい。

編集広報委員会
 ・「設立65周年記念会員名簿」が発行された。誤り等があったら知らせてもらいたい。

・2ヶ月に1回の放技ニュースの発行が適切に運んでいる。各地区委員の方々からの行事報告や投稿などで協力を頂いていることに感謝する。

・会報の発行に関して、来年2月の平成25年度学術大会の抄録を載せるようにするのか、東北放射線医療技術学術大会で発表した抄録を載せるべきかについて、技術学会員には後抄録を発行し配布さ

れるが、技師会員には発行されない。福島県として会報に60演題を載せることにしたいが、規程上可能なかどうかを技術学会へも伺いを経て許可をもらう方向で検討する。例年の学術大会抄録は2ページ使用でしたが、演題数が多いため1ページとする。

ネットワーク委員会

- ・ ネット上での各測定器の貸出の取扱いについては、現在までのところ不都合はない。貸出台数は原則1台とするが、利用状況等により貸出台数、貸出期間、送る方法は相談の上で決定する。但し、県内医療施設への貸出で、個人に貸出す際には有料扱いとする。一般から使用申込があった場合は会員を派遣して貸出し、報告書(測定証明書)のフォーマットを作成し、文書化して運用したい。
- ・ 役員名簿等、公益社団法人として「公開しなければならない項目の公開」「公開しなければならない項目の明確化」については、公益法人の定期提出・開示書類についても事業計画、事業報告に関する書対の作成・提出・公開が必要になる。ホームページのトップページに「公益社団法人福島県診療放射線技師会について」見ることができるリンクボタンを作り対応したい。載せる項目については、総会資料程度とし内容・諸帳簿等についても検討する。

・ 求人情報の提供について

求人情報を福島県診療放射線技師会ホームページへの掲載について、実務担当者から提案があり会長よりぜひ進めるようにとの話があった。各施設で求人をする機会が多いと思うが、技師会に依頼されるケースが少なく、受け入れ体制も整っていないため、専用ページとして求人情報のボタンを作成し誰でも閲覧することが可能な状態になっていることが必要ではないかなどの意見が出た。

HPのトップページに求人情報のリンクボタンを設定して、掲載申込方法についてはネットワーク委員会で検討し進めることとした。また、福放技ニュースにもHPにて求人情報を受け付ける旨のお知らせを出して広報することにする。

生涯教育委員会

- ・ 平成25年11月17日(日)静脈注射(針刺しを除く)の講習会(星綜合病院)では28名の参加があった。8月に予定し延期した講習会を、来年1月26日か2月16日(県北)の何れかの日に開催する予定で進めているが、会場に予定している大原綜合病院と相談して決める。受講者は最多で30名程度になる。
- ・ 来年度の行動予定

フレッシューズセミナー 6月15日(日)

静脈注射の講習会 9月7日(日)・3月8日(日)

基礎講習MR検査 2月15日(日)

- ・ 平成26年度基礎講習については、JART及び後援している講習会がある。医療基礎コース・基礎技術コース・認定資格(JART認定)・JART共同認定など、詳しくは、各地区の生涯教育委員へお尋ね下さい。

原発災害対策委員会

- ・ 福島県診療放射線技師会として作成したパネルが、東北放射線医療技術学大会及び、各地域で開催された健康まつり等にて使って頂いた事が技師会を大きくアピールできた。

・ 追加報告

12月14日(土)に福島県原子力医療対包総合研修(放射線基礎知識)が開催されます。対象者：診療放射線技師・救急救命士など定員60名、場所：南東北卸売りセンター(郡山市)参加申込等はHPで確認していただきたい。

財務執行状況報告

現在、収入8,360,924円より、支出8,559,474円が多くなっている状況

前年度繰越金は、4,634,935円 詳細について別紙にて説明。会費納入状況としては、納入率が会津58%、県南68%、県北77%、浜通90%で全体としての納入率は74%。

平成23年度会費未納者が会津4名、県南1名、浜通2名で7名おります。各地域協議委員長は、年内に納入が済まされる様対応してもらいた。

・ 公益法人会計処理について(片倉監事)

別紙にて公益法人財務処理に関する取扱いの要望があった。財務処理について各地区の財務担当者と事務局の財務担当者が共通認識の下で会計処理を行う必要があるため、今月末に各地区会計担当者や地区協議委員長、執行部が打合せ会議を開催する事にした。詳細は追って連絡する。

分科会(研究会)、研修会、講習会開催

- ・ 12月14日(土)に結核対策放射線技師コース{福島県の委託事業(2回契約)として前年度に引き続き2回目}講習会を太田西ノ内病院で開催する。
 - ・ 12月15日(日)救急撮影認定講習会を開催するので、HPで確認し参加して貰いたい。
- 衛星携帯電話導入に伴う救急時連絡体制の整備に伴う連絡体制について

前回の理事会で購入は決定している。11月中に補助金申請をして来年1月か2月中には使用できる状態にして平成25年度の県の事業に参画できる様に進めて行きたいと思っているが、この度の理

事会での議題である緊急連絡体制の整備に関する準備が整わなかったため、この議題は取り下げられる。次回平成26年3月の理事会で結論が出せる様に進めて行く。

放射線公衆安全学会の入会案内の対応

「法人会員」として、福島県診療放射線技師会として登録することが承諾された。

平成25年度診療放射線技師女性サミット開催に伴う出席者の派遣について

太田総合病院附属太田西ノ内病院の斉藤由起さんを派遣することにする。

富塚光男様からの寄付について

寄付の使用目的は、学術奨励資金資産として使用し、運用に関しては、本人より理事会に一任することを確認している。会長名で受領書を発行し、総会に於いて感謝状の授与と名誉会員としての推薦の提案を進める。

報告他

第3回東北放射線医療技術学術大会終了報告について

遊佐大会長より、学会テーマとして「自ら立つ・守る・ひらく未来」

一般市民向けテーマとして「放射線のこと、福島で学ぶ、福島と学ぶ」で開催され、参加会員数589名。

一般市民：約100名、演題数：141演題（セッション数27）、福島県60題で、盛会裡に終了したことが報告された。

東北地域会長会議報告

会長が別紙にて理事会の報告を行った。

日本診療放射線技師会第3回理事会報告については、議題が多く説明しきれないので後日理事会資料をDLサイトにアップするので一読して貰いたい。

医療保健従事者の確保に関する検討会報告

会長より平成25年度10月15日(火)福島中町会館にて開催された医療従事者の確保に関する検討会に出席し、今後の診療放射線技師確保の対策について別紙の内容で報告してきた。

日本診療放射線技師連盟入会促進について

会長より連盟入会への加入についての話があった。

その他

平成26年度事業計画・予算案について

別紙に用いて来年度の事業計画・予算案を、平成26年3月31日までに県に提出しなければならないので、各担当者は対応を進めてもらいたい。3月の理事会で承認を得て提出する予定である。

福島県甲状腺検査

支援合同委員会の委員推薦について

福島県医師会が来年度以降の県内の甲状腺検査の人材を県内で賄うために、甲状腺超音波検査講習会を開催し、甲状腺検査に係わる知識及び手技の習得を目指して福島県独自の認定者を育成している。認定試験を実施するにあたり、合同委員会を設置するが、福島県診療放射線技師会からも1名の委員の推薦依頼が来ている。任務は試験問題の作成、認定試験の実施、合否判定などの作業を行うことで、委員の推薦にあたっては、甲状腺超音波検査認定試験を受講されない方を推薦しなければならない。理事の中から福島医科大学附属病院放射線部佐藤孝則理事を推薦することを承認した。公益社団法人福島県診療放射線技師会として筑波大学医学医療系 磯部智範先生監修による「放射能・放射線って何？」 知っておきたい基礎知識を放射線啓発用に作成した。第3回東北放射線医療技術学術大会でも配布したが、400部はあるので、各地区、職場等での講習会に活用して貰いたい。必要な方は遊佐副会長まで申し出るように。第30回日本診療放射線技師学術大会 第21回東アジア学術交流大会が平成26年9月19日(金)から21日(日)別府国際コンベンションセンター（大分県）にて開催される。ポスターを配布するので広報して貰いたい。

疑義照会エントリーについて

福島県から13施設のエントリーが有り推薦している。各施設には文書での正式な依頼が来るが、それまでは今から事例を集めておいて貰いたい。南山堂から「原子力災害の講習衛星 ～福島からの発信～」が刊行される。県立医科大学の公衆衛生学講座の安村教授が中心になって刊行するもので、福島県診療放射線技師会には県の学術大会で発表した「スクリーニング活動の総括」の修正投稿依頼があった。刊行は9月予定であったが遅れている。

～お知らせ～

・学術委員会より

「平成25年度公益社団法人

福島県診療放射線技師会学術大会」

東北放射線医療技術学術大会が11月開催のため、今年度は下記の日時に延期して講演のみの開催と致します。

特別講演後には弁当の配布を予定しています。多くのご参加をお待ちしていますので、よろしくお願い致します。

日時：平成26年2月2日(日)受付開始9時より

場所：星総合病院 ポラリス看護学院メグレスホール

内容：

- 一般公開講演「福島から」への挑戦
鈴木勇人 氏 (福島ユナイテッドFC代表)
- 特別講演 (第一三共製薬との共催)
「乳腺MRIの現状と展望」
田淵 隆 先生 (八重洲クリニック)
- シンポジウム「読影について」
「画像診断における読影の補助について」
加藤京一 先生 (昭和大学大学院保健医療学研究科)
- 「救急領域における読影の保持の実践」
宇内大祐 先生 (聖路加国際病院)
- 「読影補助のスキルアップに向けての取り組み」
坂下恵治 先生 (りんくう総合医療センター)

・編集広報委員会より

先に発行された公益社団法人設立記念会員名簿に収載漏れがありましたのでここにお知らせ致します。

・浜通り支部

いわき市立総合磐城共立病院
佐藤尚司 皆川和貴
個人 山口清一

関係者の皆様へお詫び申し上げます。

・ネットワーク委員会より

メールマガジン登録方法の案内

メールマガジンの配信を希望する方は

fart@star7.jp

に空メール (件名・本文なし) を送信してください。
登録完了メールが届きます。以上で登録完了です。

メールマガジンでは、分科会、勉強会、学術講演会、
地区行事開催案内等のお知らせ、また緊急に会員の皆
様にお知らせする内容などについて配信いたします。

・精度管理委員会より

～放射線測定器の貸し出し申し込みについて～

放射線測定器を借りる場合の申し込みは、福島県診療
放射線技師会ホームページ会員専用情報からお申し込み

下さい。

地区だより

県南地区

「ピンクリボン in 郡山 2013」開催

第5回目を迎えた「ピンクリボン in 郡山」が10月27日(日)、ビッグパレットふくしまを会場に開催されました。県南地区協議会から4名の参加協力を頂き、「乳腺疾患における画像診断」のテーマにてブースを設置し、「乳がんの早期発見」を啓蒙しました。今年から会場を郡山駅前の「ビッグアイ」から「ビッグパレットふくしま」(郡山市安積町)に移し、500名を超える方をお迎えしました。

特別講演では、タレントの麻木久仁子さんが『人生って終わりがあるものなんですね～今を生きる事とは～』と題し、自らの「乳がんと診断されてから手術後、そしてこれまでのこと」をときにユーモラスに語りかけるようにお話しくださいました。



乳がん検診では、無料クーポンが配られているにも拘らず、受診率が20%台と伸び悩んでいる経過が郡山市医師会乳がん委員会より報告されました。乳がんによる死亡率の低下を期待するためには、受診率を50%以上にする必要があります。

この目標を達成するために、私たちにできることは何でしょう？
(白石)

相双地区

「南相馬市福祉まつり」開催

平成25年10月27日に震災後初めて、南相馬市福祉まつりが開催されました。

福島県放射線技師会にも南相馬市より参加の要請があり、相双地区の技師会会員の皆様の協力を得て診療放射線ブースを用意しました。当日は台風の影響を心配しましたが、天候も回復したせいもあり、多くの方が来場されました。

技師会で用意できる展示物や、来場する方の関心の集め方など課題もありましたが、会員で行動する震災後初めての行事でしたので、これを第1歩としてがんばりたいと思います。(大井)

「相双地区勉強会」開催

11月20日に小野田病院にて、震災後初めて相双地区勉強会を開催しました。



30名を超える技師の皆様に参加していただき、「メーカー各社の最新クラウドについて」という演題で勉強会をおこないました。

震災のために、医療画像の取り扱いの問題点が数多く知ることができたので多くの技師の皆さんが熱心に勉強されていました。

その後、場所を変えて懇親会も開きました。そちらにも多くの皆様に参加していただき、楽しい時間を過ごしました。(大井)

いわき地区

「第20回いわき地区画像研究会」開催

平成25年11月19日(火)いわき市立保健センター多目的ホールにおいて、第20回いわき地区画像研究会が開催されました。

『モニターの基本と品質管理～関連する最近の技術トレンド(LED、ブルーライト)～』と題し、EIZO株式会社 菅谷武史先生に講演とモニター品質管理の実演をしていただきました。



「モニターの基本と品質管理」

- 1. 液晶パネルの構造や種類による視野角
コントラスト、応答速度 コストの比較使用する医療画像のデータに合わせ最適なモニターの選択
- 2. 推奨輝度での使用や輝度の経年変化
最適な表示環境を維持するためのモニター品質管理の必要性

「モニターに関連する最近の技術トレンド」

- 1. バックライトの進化CCFLからLEDバックライト(発光ダイオード光源)への移行と比較(寿命、輝度、色の均一性の安定、低消費電力)や、
- 2. 最近話題の「ブルーライト」の軽減するための対応など技術の紹介を受けました。

「モニター品質管理の実践」

JESRA X-0093モニター品質管理ガイドラインに基づいた品質管理試験を実演して頂きました。

一定期間同じ輝度で表示するためのモニター管理の必要性をあらためて思いました。(菅原)

編集後記

新年明けましておめでとうございます。

無事に新しい年を迎えることができました。

広報編集委員となり初めて福島放技ニュースの編集を担当させていただきました。

今年もよろしく願っています。

(菅原)

県南 (責)	白石 嘉博	星総合病院
県北	池田 正光	福島県立医大
県南	本間 妙	総合南東北病院
会津	森谷 辰裕	会津中央病院
浜通	大井 和広	小野田病院
浜通	菅原 正志	福島労災病院